



THE AKAMATSU

知識の森

vol. 55
通信

編集：宇都宮共和大学入試広報委員会

発行：宇都宮共和大学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

宇都宮シティキャンパス 〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-3-18 TEL.028-650-6611
 長坂キャンパス 〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒針町長坂3829 TEL.028-649-0511
 那須キャンパス 〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131 TEL.0287-67-3111



2学部共通



▲シティライフ学部の研修



合宿交流研修



4月21日(金)～22日(土)に鬼怒川温泉ホテル三日月にて、シティライフ学部と子ども生活学部合同の合宿交流研修。2年生が1年生をリードしながら、積極的に研修に取り組みました。

1日目、シティライフ学部は那須キャンパスに移動し「那須塩原駅をまちあるきして未来の駅前を考えよう」というテーマで研修が実施されました。グループに分かれて那須塩原駅周辺を調査・散策し、将来のまちづくりアイディアをまとめました。

子ども生活学部は「あそびで仲間とつながろう」をテーマに、ダンスやゲームなど心と身体をフルに使って、子どもたちが楽しむ姿をイメージしながらの研修となりました。2日目は、交流研修の振り返りをした後、世界遺産の日光東照宮を見学しました。



▲子ども生活学部の研修



▲ホテルにて



▲日光山輪王寺



▲日光東照宮

子ども生活学部



宇都宮共和大学・宇都宮短期大学×ミナテラスとちぎ 大学連携親子ワークショップ

子育て支援センター事業の一環として、企業((株)栃木トヨタ自動車)と連携し、コミュニティ施設(ミナテラスとちぎ)において、地域の親子対象のイベントを行いました。

5月28日(日)は、「自然を感じよう～花や木の実でアレンジメント」をテーマに、自然素材を使ったアレンジメントの製作を行いました。同じ素材であっても子ども達それぞれの個性溢れる作品ができました。

7月18日(火)は、「いろんな音と動きで遊ぼうリトミック」をテーマに、身体の音や生活の中にある空き缶やペットボトル、お茶碗、紙素材などの音をリトミックの活動を通して楽しみました。

子どもだけではなく親自身も活動を楽しむ様子が見られ、親子のコミュニケーションのひと時になっていたようです。

学生もアシスタントの役割を通して親子と関わり、保育者となる為の実践的な学びの機会となりました。



キャンプ実習



子ども生活学部では、宇都宮短期大学と合同で、8月5日(土)～7日(月)に2泊3日でキャンプインストラクター資格取得のためのキャンプ実習を行いました。

1日目は、拠点とするグラウンドにキャンプサイト・宿泊テントの設営を行い、その後、野外調理を行いました。野外調理では、かまどを使用し、グループごとにカレーライスを作りました。

2日目は、レクリエーション活動、学内の「こどもの森」で拾った自然の木材を使ったクラフト作り、そして夜は、学生たちが主体となって企画したキャンドルファイヤーを行いました。3日目は、使用した場所や用具の清掃を行いました。

学生は、「このキャンプ実習で仲間と一緒に、人間的に成長することができた。保育者としての資質に有益な経験となった。」と振り返っていました。

本学のキャンプ実習も4年ぶりに宿泊形式で行うことができました。各学生が、キャンプ実習での学びをこれから的学生生活や学びに大いに活かしてほしいと思います。



index

P1

- 合宿交流研修
- 大学連携親子ワークショップ
- キャンプ実習

P2

- オープンキャンパス開催
- 新入生歓迎BBQ
- 宵まち宮灯ろう
- まちなかクールシェア・コンサート

2学部共通


オープンキャンパス開催
子ども生活学部

子ども生活学部では、「キャンパスサポーター」の学生ボランティアが活躍しました。『体験してみよう』コーナーでは、在学生と一緒に授業で実践している絵本の読み聞かせや手遊びをして楽しんだり、在学生が作った乳児の玩具と一緒に遊んだりと様々な交流がありました。

参加者の方からは「在学生のみなさんと一緒に手遊びができたことが楽しかったです!」「この玩具はどうやって作ったのですか?私も作ってみたいで



▲「手遊び」体験



▲学生インタビューによる「学部紹介」

す!」と様々な感想や質問をいただき、終始和やかな雰囲気の中で行われました。

『学部説明』では、子ども生活学部の多彩なカリキュラムや学生生活、実習、就職活動支援などについて紹介しました。『模擬授業』は、6月は月橋先生による『楽しくコミュニケーションを学ぼう!』を、7月は霜触先生による『子どもの身体活動について』を、8月には蟹江先生による『子育てはママの仕事?』を行いました。

参加者のみなさまには、具体的な演習を通して授業の一端を経験し、子ども生活学部の明るい雰囲気を味わっていただきました。



▲「体験してみよう」コーナー

シティライフ学部

オープニングイベントの「シティ・クエスト」をクイズラリー形式で行い、来場者のみなさんはキャンパス内を巡りながら難問に挑戦、成績上位者には賞品が授与されました。

『まちづくり提案プレゼンテーション』では、「秘境の地に眠る大谷の謎を発見しよう(6月)」、「私のまちは私がつくる～宇都宮駅ペデストリアンデッキ周辺の活性化事業～(7月)」、「栃木の森で地域活性化～平地林での音楽イベント・木工作品づくり～(8月)」について、



▲模擬授業

学生が研究成果を披露しました。

『模擬授業』では、高丸先生による「シティライフ学とデータサイエンス(6月)」、北浦先生による「ブランドの力(7月)」に加え、寺内先生と薄井先生により教職資格や簿記会計資格について説明がありました(8月)。

教員と卒業生との対談である『教えて先輩』では、金融業、サービス業などに勤務する卒業生を迎えて、大学生活や就職活動等について、恩師との楽しいトークが繰り広げられました。本学サークル「大学盛り上げ隊」による『学生のぶっちゃけトーク』では学生生活の本音が話され、会場の笑いを誘っていました。



▲学生のぶっちゃけトーク

▲卒業生との対談「教えて先輩」

シティライフ学部

新入生歓迎BBQ


5月30日(火)、宇都宮シティキャンパスにてシティライフ学部の新入生歓迎バーベキュー大会が開催されました。このイベントは4月に入学した1年生に、一日も早く新しい環境に慣れ親しみ、キャンパスライフを楽しく過ごしてもらおうと、毎年実施しています。

イベントに向けて、先輩学生が企画を練り、当日は、バーベキューサイトの設営や火起こし、調理にと大活躍しました。大学盛り上げ隊サークルが企画した全員参加の○×クイズで盛り上がり、1年生も先輩学生とすっかり打ち解け、親交が深められました。また、シティライフ学部の同窓会からカットフルーツの差し入れをいただきました。


宵まち宮灯ろう

7月12日(水)、JR宇都宮駅西口ララ・ポケットにて、第2回「宵まち宮灯ろう」が開催されました。宇都宮空襲犠牲者慰霊のための活動継続を目指すシティライフ学部生「まちづくりサークル」が企画・運営するイベントです。7月2日(日)には、小学生を対象とした犠牲者慰霊のための灯ろう制作会を開催。制作された灯ろうはイベント当日、会場を飾りました。

シティライフ学部生のアコースティックギター演奏と歌から始まったイベントは、犠牲者への默とう、体験者講話、空襲体験者の証言に基づく紙芝居と続き、最後に、宇都宮市在住のフルート奏者の栗田智水さんとエレクトーン奏者の井上智美さんによるミニコンサートで締めくくられ、空襲の記憶を風化させることなく、より若い世代へと伝えたいという、学生たちの思いと願いがこもったイベントとなりました。


まちなかクールシェア・コンサート

8月19日(土)、宇都宮シティキャンパスにて、「第16回まちなかクールシェア・コンサート」が開催されました。宇都宮市もったいない運動市民会議とのコラボによるクールシェア普及のための活動の一環として、毎年、夏休みにシティライフ学部生が実施してきたコンサートです。

今年は、ひがし子ども和太鼓クラブの元気な和太鼓演奏がオープニングを飾り、ことぶきハーモニカアンサンブル、まちなか吟詠詩舞愛好会、コール・デル・ソーラ、もったいない運動市民会議(市環境創造課)&ミヤリー、童謡・抒情歌を歌おう会という、おなじみの「ご町内オールスター」のみなさんが、元気な歌声や踊りを披露してくれました。そして、フィナーレは渡邊響子さん(ヴァイオリン)、栗田智水さん(フルート)、井上智美さん(エレクトーン)による演奏で会場は大いに盛り上がり、来年の開催を約束して、コンサートは終演となりました。



▲オープニング



▲フィナーレ



▲コンサート



▲紙芝居